

平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月3日

上場会社名 株式会社マックハウス 上場取引所 東
 コード番号 7603 URL <http://www.mac-house.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白土 孝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 杉浦 功四郎 (TEL) 03-3316-1911
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月10日 配当支払開始予定日 平成26年11月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	17,364	△2.6	△129	—	△39	—	△179	—
26年2月期第2四半期	17,821	△3.5	768	△26.7	835	△25.8	448	△33.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	△11.72	—
26年2月期第2四半期	29.24	29.21

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	26,043	15,506	59.5
26年2月期	28,015	15,981	57.0

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 15,489百万円 26年2月期 15,971百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00
27年2月期	—	20.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,300	△1.2	600	△47.4	700	△44.1	190	△65.4	12.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年2月期2Q	15,597,638株	26年2月期	15,597,638株
27年2月期2Q	260,088株	26年2月期	260,061株
27年2月期2Q	15,337,557株	26年2月期2Q	15,329,337株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第2四半期累計期間	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 「参考資料」	10
商品別売上高の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成26年3月1日～平成26年8月31日)における我が国の経済は、政府による経済政策や金融緩和政策の効果により、輸出産業を中心とする企業の業績が改善するなど、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方で個人所得環境は依然として厳しく、中・低価格帯のカジュアルウェア市場におきましては、外資小売企業や国内大手小売の出店拡大により市場競争はますます激化しております。衣料品小売全般において、仕入コストの上昇や消費者の依然として高い生活防衛意識によって、経営環境は厳しい状況で推移しております。

かかる状況下におきまして、当社は従来のジーンズカジュアルショップから、アパレルとライフスタイル雑貨を融合したライフスタイル提案型ショップへの変革に取り組んでまいりました。

アパレルとライフスタイル雑貨を融合することで、お客様に一層お買い物を楽しんで頂ける環境を提供し、ご来店頻度及び、お買上点数の向上を図ります。このアパレルとライフスタイル雑貨を融合した店舗は8月末時点で約300店舗となっております。また、旗艦店として「Navy Store」を屋号とする店舗を横浜と川越に出店しました。

出退店につきましては、SC(ショッピングセンター)を中心に23店舗を新規出店した一方、退店25店舗により、当第2四半期累計期間末店舗数は480店舗(前年同四半期比同店舗数)となりました。

商品面におきましては、PB(プライベートブランド)である「Navy」を主力ブランドと位置付け、素材に軽量でソフトな360度ストレッチニットデニムを使用した新感覚デニムNavy「RUN DENIM」を重点販売したほか、付加価値を高めた商品としてメガネの入るポケット付き「SA・RA・RI Cool」ドライポロ、香り付き「Navy」ライジングウェーブビズポロ、実需型商品である機能インナー「SA・RA・RI Cool」、「Navy 365」などを販売強化しました。

販売促進活動におきましては、マスプロモーションとして重点販売商品の新聞広告を掲載しております。

また、第1四半期よりチラシ販促を大幅に増加させましたが、費用に見合う効果が得られませんでした。そこで、第2四半期より費用対効果の高いモバイル販促の強化に努めております。

これら施策により、ボトムスの重点販売商品などは堅調に推移しましたが、第2四半期累計期間において売上構成比の高いカットソーの売れ行き不振、天候不順による販売時期のずれ込み、レディース商品のトレンド対応不足などにより、第2四半期累計期間において、アパレル全体の売上は前年を下回りました。また、今期導入のライフスタイル雑貨につきましては、売上好調な店舗がございますが、全体としては想定を下回りました。今期より販売を強化しております実需衣料品であるインナー・レグにつきましては、計画通り順調に推移しております。

これらの結果、第2四半期より社長が営業本部長を兼任し、店舗販売力の強化を最優先課題として改革に取り組んでおり、既存店売上前年比は第1四半期95.9%、第2四半期99.4%と改善が見られるものの、当第2四半期累計期間における売上高は17,364百万円(前年同四半期比2.6%減)となりました。利益面におきましては、消費増税後の競争激化を主因として、セール等による売価変更が増加し、粗利益率は前年同四半期比1.1ポイント減(47.1%)、また、営業損失は129百万円(前年同四半期は営業利益768百万円)、経常損失は39百万円(前年同四半期は経常利益835百万円)、四半期純損失は179百万円(前年同四半期は四半期純利益448百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1,972百万円減少し、26,043百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ1,909百万円減少し、18,368百万円となりました。これは主に現金及び預金が2,464百万円減少した一方で、売掛金が317百万円、商品が293百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ62百万円減少し、7,675百万円となりました。これは主に敷金及び保証金が145百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ1,497百万円減少し、10,536百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ1,381百万円減少し、8,010百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が623百万円、ファクタリング債務が730百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ116百万円減少し、2,525百万円となりました。これは主に長期未払金が47百万円、長期リース資産減損勘定が47百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ474百万円減少し、15,506百万円となりました。

これは主に四半期純損失を179百万円、剰余金の配当306百万円を行ったこと等によるものであり、総資産に占める自己資本比率は59.5%となり前事業年度末に比べ2.5ポイント増となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は営業活動、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなり、資金は前事業年度末に比べ2,464百万円減少し、6,678百万円となりました。

また、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果支出した資金は、1,802百万円(前年同四半期比86百万円減)となりました。

これは主に、税引前四半期純損失を115百万円計上するとともに、仕入債務の減少1,351百万円及び売上債権の増加317百万円等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は、300百万円(前年同四半期比108百万円増)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出301百万円等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は、360百万円(前年同四半期比167百万円減)となりました。

これは主に、割賦債務の返済による支出52百万円及び配当金の支払額306百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成27年2月期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成26年10月2日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,246	9,782
売掛金	413	731
商品	6,916	7,209
前払費用	346	353
繰延税金資産	129	202
その他	225	88
流動資産合計	20,277	18,368
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	142	138
建物附属設備(純額)	1,083	1,208
構築物(純額)	47	39
車両運搬具(純額)	—	0
工具、器具及び備品(純額)	83	95
リース資産(純額)	6	11
土地	194	194
その他	1	0
有形固定資産合計	1,559	1,689
無形固定資産		
投資その他の資産	195	201
長期前払費用	204	215
敷金及び保証金	4,980	4,834
繰延税金資産	762	708
その他	72	54
貸倒引当金	△36	△29
投資その他の資産合計	5,983	5,783
固定資産合計	7,737	7,675
資産合計	28,015	26,043

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,124	5,500
ファクタリング債務	1,606	875
未払金	497	313
未払法人税等	83	111
未払費用	727	816
賞与引当金	98	88
店舗閉鎖損失引当金	10	11
リース資産減損勘定	143	116
資産除去債務	22	15
その他	76	160
流動負債合計	9,391	8,010
固定負債		
長期末払金	85	37
退職給付引当金	1,438	1,435
転貸損失引当金	232	195
長期預り保証金	185	182
長期リース資産減損勘定	107	60
資産除去債務	587	604
その他	5	9
固定負債合計	2,642	2,525
負債合計	12,033	10,536
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617	1,617
資本剰余金	5,299	5,299
利益剰余金	9,209	8,722
自己株式	△152	△152
株主資本合計	15,974	15,487
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△2	1
評価・換算差額等合計	△2	1
新株予約権	9	17
純資産合計	15,981	15,506
負債純資産合計	28,015	26,043

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	17,821	17,364
売上原価	9,237	9,190
売上総利益	8,584	8,173
販売費及び一般管理費	7,815	8,303
営業利益又は営業損失(△)	768	△129
営業外収益		
受取利息	10	8
受取家賃	189	157
その他	50	78
営業外収益合計	249	244
営業外費用		
支払利息	1	0
不動産賃貸費用	177	145
その他	4	8
営業外費用合計	182	154
経常利益又は経常損失(△)	835	△39
特別利益		
受取補償金	—	11
受取違約金	7	—
特別利益合計	7	11
特別損失		
固定資産除却損	10	24
減損損失	10	51
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	11
特別損失合計	21	87
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	821	△115
法人税、住民税及び事業税	210	86
法人税等調整額	162	△22
法人税等合計	373	63
四半期純利益又は四半期純損失(△)	448	△179

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	821	△115
減価償却費	91	140
減損損失	10	51
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8	△2
賞与引当金の増減額(△は減少)	6	△9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	△7
受取利息及び受取配当金	△10	△8
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△17	△36
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△4	0
リース資産減損勘定の増減額(△は減少)	△126	△74
支払利息	1	0
賃借料との相殺による保証金返還額	117	106
売上債権の増減額(△は増加)	△269	△317
たな卸資産の増減額(△は増加)	320	△293
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,024	△1,351
固定資産除却損	10	24
未払消費税等の増減額(△は減少)	81	102
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	20
その他	△27	△128
小計	△1,015	△1,897
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額	△872	△58
法人税等の還付額	—	153
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,889	△1,802
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△188	△301
無形固定資産の取得による支出	△11	△13
定期預金の払戻による収入	2	—
敷金及び保証金の差入による支出	△96	△82
敷金及び保証金の回収による収入	99	120
その他	2	△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△192	△300
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△459	△306
リース債務の返済による支出	△1	△1
割賦債務の返済による支出	△67	△52
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△528	△360
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,611	△2,464
現金及び現金同等物の期首残高	11,218	9,143
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,607	6,678

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第2四半期累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)

当社は衣料品等小売業並びにその他サービス業務を営んでおりますが、その他サービス業務の重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

4. 「参考資料」

商品別売上高の状況

商品別	期別 前第2四半期累計期間 自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日	当第2四半期累計期間 自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日	前年同四半期比	増減
メンズトップス	5,241百万円	4,868百万円	92.9%	△373百万円
メンズボトムス	3,672百万円	3,713百万円	101.1%	40百万円
レディーストップス	2,622百万円	2,262百万円	86.3%	△360百万円
レディースボトムス	2,371百万円	2,161百万円	91.1%	△209百万円
キッズ	1,647百万円	1,727百万円	104.8%	79百万円
その他	2,264百万円	2,630百万円	116.2%	365百万円
合計	17,821百万円	17,364百万円	97.4%	△457百万円

(注)「その他」はインナー・レグ、雑貨等であります。